

タイトル:お家	2歳児	保育環境アイデア部門
---------	-----	------------



自分たちの生活にも慣れ、保育室が安心できる空間になり、友だちを意識し始めたころに設置しました。自分たちのつくった(色を塗った)家であり、気に入って、椅子や玩具を持ち込み、友だちとかかわって遊ぶことを楽しんでいます。友だちとかかわるにはちょうど良いくらいの狭い空間のようで友だちとのかかわりがぐっと増えました。

タイトル:焼き芋をつくろう!	2歳児	保育環境アイデア部門
----------------	-----	------------

焼き芋パーティーの日。サツマイモを焼いているところを見たり、焼きたてを食べたりした後に、焼き芋づくりを楽しめるような遊びを準備しておいた。この写真はサツマイモを収穫している様子である。眉間にしわを寄せて一生懸命ツルを引く姿や、友だちの様子を見ながら自分もやってみようとする姿など、様々な表情で楽しんでいた。

サツマイモを収穫した後は焚火で焼いて、割ると中から黄色の花紙が出てくるようにした。おいしそうな中身に子どもたちは目をキラキラ輝かせていた。この遊びを通して行事に親しみをもったり、自分で収穫したサツマイモが焼き芋になったことの達成感や嬉しさを味わったりすることにつながった。



どうやってやるのかな…

ぼくもやってみる!

うんとこしょ!

あったかくなってきた~!



焼き芋を楽しんだり、そのほかに色々な食べ物を焼いたりして遊ぶ姿があった。



生活面にも、遊び心を取り入れて、楽しくできたらいいな♡

自分のマークを見つけるのが楽しい!
ポケットから出し入れするのが楽しい!

一つひとつのポケットには子どもたちの個人マークを貼っています。
※パッと見てシャツの着忘れにも気づけます。

自我が芽生えて『自分でしたい』という意欲が育ってきた子どもたち。同時にイヤイヤ期でもある葛藤の多い1歳児です。

自分のマークをしっかりと覚えた夏頃から、このシャツポケットを設置してみました。

自分のマークを見つけて嬉しそうな子どもたち。午睡起きにトイレに行く際に、自分でシャツを見つけてポケットから出し、自分で着ようと頑張っています。



「お正月の飾り」～子どもたちに伝えたい日本の文化や伝統を感じられる作品～

○なんてんスワッグ

園内に植えたものや職員が持ち寄ったなんてんを使って作成した。

○サツマイモのツルのリース

芋ほり後のツルを乾燥させておき、輪にしてリースの土台を作った。

サツマイモのツルの素材が感じられるように作成した。

○どんぐりカレンダー

和柄のお盆やもうせん風のフェルトと共に、11月に採取したどんぐりを使って作成した。

○稲穂アレンジ

地域の方から頂いた稲穂を工夫して作成した。藁の部分を三つ編みにして松葉やなんてん、水引などの素材を使ってお正月を感じられるようアレンジした。



自園で栽培した落花生を収穫し、子どもや保護者、保育者の目に留まるよう工夫して飾った。

「どこに植えてあったの?」「どのように育つの?」などの問い合わせもあり、落花生に興味をもってくれた様子を感じられた。また、そらまめくんのベッドの絵本の中に出てくるピーナッツ君とつながった場面もあり、絵本の中の世界が現実と重なった場面が嬉しかった。

秋の遠足で子どもたちと拾った自然物を絵本の飾り棚に入れて飾った。素材がクリアで中身が見やすいことと、絵本棚を絵本だけでなくそのほかのものを入れて飾る活用方法があることに気づいた。子どもたちも園庭で拾った葉っぱやどんぐりを入れてくれていた。



収穫した落花生やどんぐりなど素材の生かし方を研究し、「どんぐりカレンダー」「サンタの飾り」を作った。

秋から冬への季節の移り変わりを楽しんだり、毛糸など冬の素材を使って工夫をしたりした。また、サンタクロースやトナカイなどお楽しみ会や行事を心待ちにして楽しめるようにした。玄関ホールに置いたことで、登降園時に作品を見て親子で会話する姿もたくさん見られ、親子のコミュニケーションの機会になっていたことも良かった。